



第19-51号

2019年9月18日

日本の鉄道会社ではじめて導入します！
ロッカーサービス「Amazon Hub ロッカー」を設置
～年内に、生活導線である駅や駐輪・駐車場10ヶ所に設置します～

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：星野 晃司）は、Amazon 商品の受け取りが可能なロッカーサービス「Amazon Hub ロッカー」を導入し、小田急線駅構内および駐輪・駐車場スペースに設置します。第1期として9月に6ヶ所、第2期として年内に4ヶ所設置予定です。

なお、同ロッカーは、Amazon（所在地：東京都目黒区）が本日より国内に展開するもので、日本国内の鉄道会社において初めての導入となります。

当社では、これまでも宅配事業者の荷物の受け取りや、一部ECサイトにおける発送サービスが利用可能なオープン型宅配便ロッカーを全線の約6割の駅に導入し、お客様の生活導線となる駅の利便性向上に努めてまいりました。

今般、新たにロッカーサービス「Amazon Hub ロッカー」を設置していくことで、駅などへお立ち寄りいただく際、Amazon でのご注文商品を受け取ることができるようになります。

また、オープン型宅配便ロッカーとあわせて、昨今の再配達問題をはじめとした配達に関する社会課題の解消に貢献いたします。

今後も、電車のご利用の有無を問わず、駅を便利にお使いいただくための施設の機能・利便性の向上を図ってまいります。



Amazon Hub ロッカー使用イメージ

「駅等への Amazon Hub ロッカーの設置」の概要は以下のとおりです。

記

- 1 ロッカーサービス名称 「Amazon Hub ロッカー」
- 2 設置場所
 - (1) 第1期 下北沢駅、経堂駅、祖師ヶ谷大蔵駅、成城学園前駅、生田駅、読売ランド前駅
 - (2) 第2期 世田谷代田駅、小田急梅ヶ丘第1駐車場、オダクル豪徳寺第3（駐輪場）、オダクル千歳船橋第1（駐輪場）
- 3 サービス対象者 Amazon で商品を注文した全てのお客さま
- 4 その他 「Amazon Hub ロッカー」の詳細は、専用ホームページにご確認いただけます。
<https://www.amazon.co.jp/hub>

以 上